



新エネルギー財団「令和3年度 新エネ大賞」経済産業大臣賞を受賞

TJグループホールディングス株式会社（本社：大阪府大東市、社長：東野 隼士、以下「TJグループホールディングス」）は、令和3年度「新エネ大賞」において、最高賞である「経済産業大臣賞」を受賞しました。

今回の受賞は、木質廃棄物などを有効活用し、グループ会社全体で木質資源の燃料化、バイオマス発電、バイオマス電力の供給までを一貫して行う「木質資源の地産地消」の取組みに対するものです。

都市部で多く発生する木質廃棄物などを有効利用し生み出された電力を廃棄物の排出元を中心に供給する取組みが、持続性の高い地域に根ざした企業活動として高い評価を受けました。

TJグループホールディングスは令和3年11月に地元自治体である大東市と「災害時における施設の開放や災害廃棄物の処理等に関する協定」を締結しており、災害時における施設の開放や災害廃棄物の処理を担うことで迅速な都市機能の回復に寄与するとともに、今後ますます地域の安全と発展にも貢献できるような事業をめざして参ります。

新エネ大賞



経済産業大臣賞

地域から地域へ 木質資源の地産地消



地域で発生する木質資源を地域の皆さまの生活に欠かせない電力に替え、生み出された電力を廃棄物の排出元で使用することを「木質資源の地産地消」と言います。

地元自治体と災害に関する協定を結ぶことで災害時におけるレジリエンス強化への寄与をめざします。

新エネ大賞について

新エネ大賞は、経済産業省後援のもと、一般財団法人新エネルギー財団が主催し、新エネルギーの一層の導入促進と普及及び啓発を図るため、新エネルギーに係る商品及び新エネルギーの導入、あるいは普及啓発活動を広く募集し、そのうち優れたものを表彰するものです。